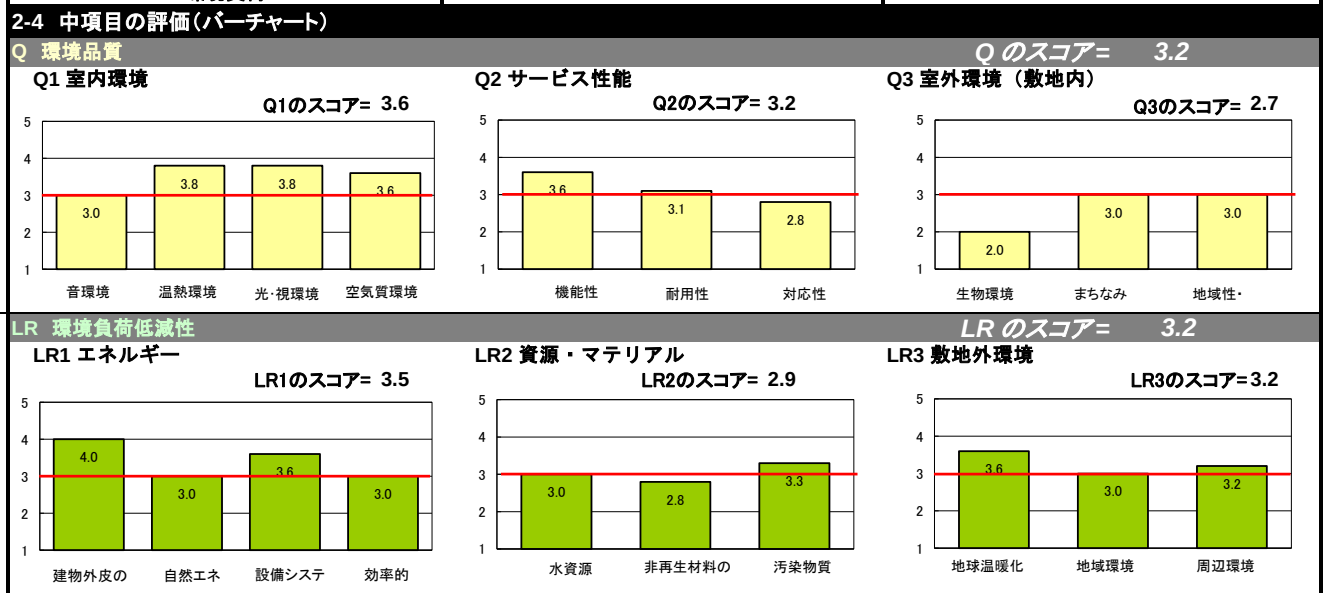
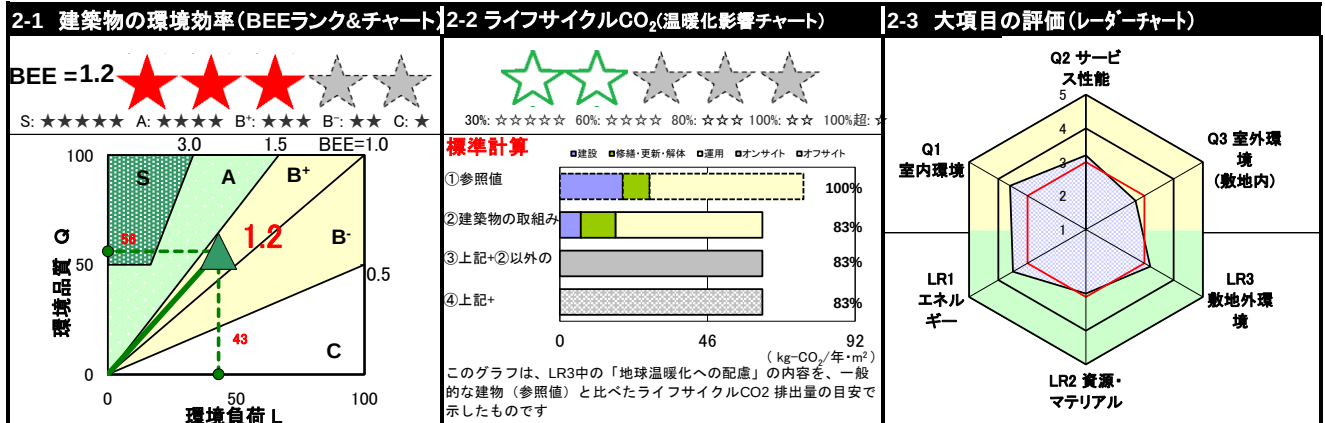


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉市稲毛区小仲台5丁目マンション	階数	地上7F	
建設地	千葉県千葉市稲毛区小仲台5丁目8番地	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	800 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2022年4月1日	
敷地面積	6,529 m ²	作成者	谷口 裕一	
建築面積	2,768 m ²	確認日	2022年4月1日	
延床面積	14,324 m ²	確認者	谷口 裕一	



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
大規模な共同住宅のため、敷地周辺や中庭へ十分な植栽帯を確保した。B棟・C棟の隔離を十分に確保し、日影に配慮した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
専有部分について、断熱等性能等級4とし、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮している。	標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱等性能等級4、BEI=0.94としている。	LGS下地やノンフロン断熱材を採用している。	ライフサイクルCO ₂ 排出率83%とし、光害抑制にも配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される